

冬も終わりが近づいてきました。今年は暖冬ですね。冬のお楽しみ行事・こぐまひろばでのアイスクリーム作りは雪の中で缶を転がして～転がして～！冷たくて甘いアイスクリームができました。でも“しずくのアイスクャンドル”は、うまく凍りませんでした。ひよこひろばで作った氷のハーバリウムもすぐに溶けてしまって、冬の気温が上がってきているなあ。と実感します。

今年度の締めくくりの3月です。子どもの1年間の成長を振り返ってみましょう。みなさん、いっぱい食べて、たくさん遊んで大きくなりましたね。

アイスクリーム
転がし中→



特別な土曜日！楽しい時間になりました♡

2月8日(土)は、年に1度のファミリーデーでした。この日は10組38名の親子が参加してくれました。今回はお父さんもたくさん来てくれました。普段の子育て支援センターでの遊びの様子がわかってもらえたよい機会になりました。大勢でのリズムあそびは、プレイルームが狭く感じるほどでした。

外遊びでは、冬のシャボン玉に挑戦。雪と寒さのせいなのか、あまりうまくシャボン玉が作れなかった～(；_；)
次回はシャボン玉液の配合を研究して、寒くても割れないシャボン玉ができるといいな～。

親子で雪遊びができて、子どもたちもとても嬉しそうでした。

《ファミリーデーの感想》

今回、妻と1歳の子どもと参加しました。子育て支援センターのイベントは、昨年12月に開催された「お父さんのための育児講座」に参加し、今回は2回目だったこともあり、知り合いのパパさんも多数いて、終始楽しく参加することが出来ました。我が子は、同じ年頃の子と触れ合ったり、お兄ちゃんやお姉ちゃんがいるところを見たり、一緒に遊んでももらったりしてたくさんよい刺激を受けたのではないかと思います。最後は外に出て、シャボン玉やソリ滑りなど、雪遊びを楽しみました。本人は、余程疲れたのか帰りの車で爆睡でした。またイベントがあれば参加したいと思います。(0歳児・父)

「子どもへのまなざし」の著者・佐々木正美先生の「ママの心が軽くなる子育てサブリ」より



悩みごと・・・『赤ちゃんが生まれて、上の子とのかかわり方に困っています。』

下の子が生まれると、お母さんはどうしても上の子に「しっかりして欲しい」と望んでしまいがちです。ついその子ができる以上のことを求めてしまうのです。下の子に手がかかってしまうから、お母さんは「せめて上の子には手をかけさせられたくない」という気持ちになっているんです。でも、上の子だって親にうんと手をかけてほしいのです。「しっかりしてほしい」という期待は親の願望なのです。

「さっさとやりなさい」と言うだけでは、できるようになりません。お母さんも手伝ってあげてください。手伝うといっても、お母さんがやってしまうということではありませんよ。「こうするとできるよ」

「こういう風にやるといいんだよ」とひとつひとつ教えながら手伝うのです。

このようにお母さんに手をかけてもらって満足すれば、上の子はうんとお兄ちゃん、お姉ちゃんらしくなります。上の子に手をかけてあげてください。「赤ちゃんが二人」くらいの気持ちで育てていけば、そのうち、上の子はスッと自立します。その時を楽しみにしてください。

<児童精神科医・佐々木 正美>

